

2019.12



## 乳がんを知ろう ピンクリボン通信 vol.7

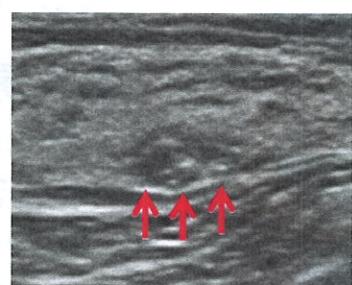
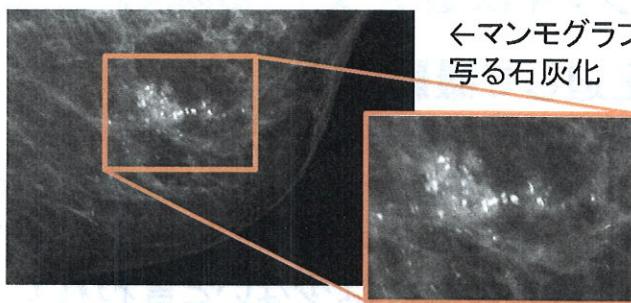


マンモグラフィと  
超音波検査の違いは？

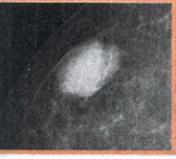
乳がんを早期に発見するためには、自己検診、マンモグラフィや超音波検査を適切に用いることが必要です。本号では、マンモグラフィと超音波検査の違いを説明します。

**マンモグラフィ** 乳房を2枚の板で挟んでX線撮影を行う検査です。

●**メリット1:** 乳がんの特徴である石灰化が発見しやすい



●**メリット2:** 乳腺が退化した閉経後の世代でしこりが発見しやすい

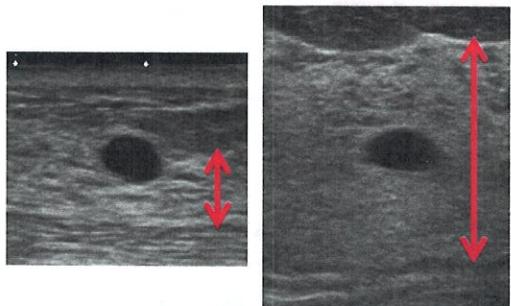


←40歳以上、特に閉経後は乳腺が退化し、しこりが見つけやすい

## 超音波検査

超音波を乳房に当て、はね返ってくる反射波を画像化したものです。

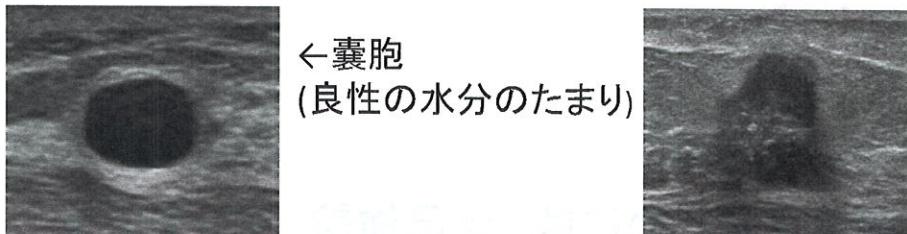
- メリット1: 乳腺が発達している若い世代でも、しこりが発見しやすい



←乳腺の断面像を写し出すため、乳腺が退化していても(左図)、発達していても(右図)、しこりがよくわかる

↑↓: 乳腺の厚み

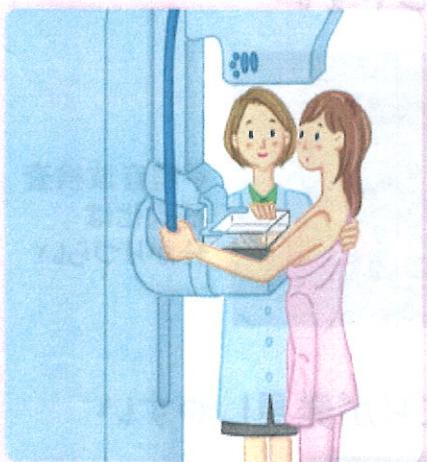
- メリット2: 内部の様子の識別ができるため、良悪性の鑑別ができる



←囊胞  
(良性の水分のたまり)

←乳がん  
辺縁でのこぼこや、  
内部の不均質な様子が  
確認できる

上記のように、2つの検査には特徴があります。  
乳がんは早期発見であれば90%の人が治癒します。  
早期発見のためにも、乳がん検診を受けましょう。



## マンモグラフィ検査を受ける際の注意

- 乳房を圧迫して撮影します。

個人差はありますが痛みを感じる方も  
みえます。乳房の張りよりも痛みの感じ方は  
変わります。一般的に生理直後の方が乳房が  
柔らかく、圧迫時の痛みは少ないと言われて  
います。

- 上半身は裸で撮影します。

服装はできるだけ上下セパレートの服で  
お越しください。

- 撮影はすべて女性技師が行います。

撮影に際に不明な点  
があれば遠慮なく  
技師にお尋ねください。